

さとひがし

☆自ら学び、心豊かで

たくましい子どもの育成

「み」 自ら学ぶ子

「や」 やさしく思いやる子

「げ」 元気な子



大津市立仰木の里東小学校 学校だより 10月号

令和4年10月3日



除草作業ありがとうございました

一昨日は、たくさんの保護者の皆様、地域の皆様にご協力いただき、運動場や学校周辺の除草作業をしていただきました。暑い中、熱心に作業を続けていただき、運動場も校舎周辺も見違えるほどきれいになりました。美しくなった様子を見て、子どもたちも大変喜んでいました。

また、なます池周辺の変化（運動場が見えるようになった様子）に、驚いている子がたくさんいました。誠にありがとうございました。今週からはたくさんのお子どもたちが楽しみにしている運動会に向けての練習が本格的に始まります。気持ちのよい環境で、どの子も持てる力を思う存分発揮してくれることと思います。

さて、まだまだ残暑は厳しいですが、少しずつ気温も下がり、過ごしやすい日が増えてきました。「スポーツの秋」「芸術の秋」「食欲の秋」…と、何をするにも良い季節です。学習（授業づくり）にも、力を入れてまいります。「実りの秋」となるよう、子どもたちの「主体的に学ぼうとする力」をしっかりと伸ばしていきたいと思っております。新型コロナウイルスの感染状況の厳しさは変わりませんが、10月も引き続き、「工夫しながら」「できる方法で」「できる限り」様々な教育活動を進めてまいります。

掃除をがんばっています！

2学期になり、掃除をがんばっている子が増えてきました。特に6年生のがんばりには、感心しています。10分間、時間いっぱいできることを探しながら、まるで、学期末の大掃除でもしているかのように、隅々まできれいにしていきます。

オープンスペースにいても、聞こえてくるのはほうきではなく音やそうきがけしている音、机や学用品を動かしている音だけです。みんな、もくもくと集中して掃除をし、終わった後は、汗だくになっています。全校のお手本になる素晴らしい姿です。

すべての学年で、もくもくと10分間集中して掃除ができる学校を目指してがんばっていきます。



教科担任制について

義務教育9年間を見通した指導体制の整備に向けて、「小学校高学年の児童の発達の段階、外国語教育をはじめとした教育内容の専門性の向上」などが議論され、教科担任制の導入が進められています。

現段階では、対象を小学校高学年とし、優先して実施すべき教科（外国語、算数、理科、体育等）や学校規模等に応じた柔軟な教科担任制が提唱されています。

本校におきましては、以前より配置がある「英語科専科教員（小学校英語パイオニアプロジェクトによる配置）」が、ALTとともに全学年の英語科及び外国語活動を指導しております。また、昨年度より配置がある「教科専科指導（算数科）」教員は、6年生全クラスの算数科と、5年生の一部の算数科を担当しております。

教科担任制の魅力は、①教材研究の深化等により、高度な学習を含め、教科指導の専門性を持った教師が多様な教材を活用してより熟練した指導を行うことが可能となり、授業の質が向上し、児童の学習内容の理解度・定着度の向上と学びの高度化が期待できる。②小・中学校間の連携による小学校から中学校への円滑な接続（中1ギャップの解消等）を図ることができる。③複数教師（学級担任・専科教員）による多面的な児童理解を通じた児童の心の安定に資することができる。④教師の持ちコマ数の軽減や授業準備の効率化により、学校の教育活動の充実や教師の負担軽減に資することができる。等、たくさんあります。

そのため、今年度は、フリー教員による同一学年同一教科（理科等）の指導や担任同士の交換授業等、さらに積極的に教科担任制を進めており、様々な効果を実感しています。今後も、教科担任制の様子や効果等につきましては、継続的にお伝えしていきます。